平成 23 年 11 月 10 日

各 位

会社名　三菱商事株式会社
代表者名　代表取締役社長 小林 健
コード番号　8058
本社所在地　東京都千代田区丸の内
2 丁目 3 番 1 号
問合せ先　広報部 報道チームリーダー
武居 秀典(TEL:03-3210-2112)

アングロ・アメリカン社保有 チリ国銅鉱山・製錬所運営会社 24.5%株式の取得

三菱商事株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小林健）は、アングロ・アメリカン社（Anglo American plc、本社：英国ロンドン、以下「アングロ社」）からの打診を受け、同社が 100%保有するチリ国銅資産権益保有会社アングロ・アメリカン・スール社（Anglo American Sur S.A.、本社：チリ国サンチャゴ、以下「アングロスール社」）の株式 24.5%の取得に関して協議を進めて参りました結果、本日、当該株式を取得致しました。株式取得価格は、53.9 億米ドル（約 4,200 億円）となります。

アングロスール社は、チリ国内にロスブロンセス銅鉱山、エルソルダド銅鉱山、チャグレス銅製錬所、並びに大型の未開発鉱区などの優良資産を保有しており、現在年間約26万トンの銅を生産しています。更に、ロスブロンセス銅鉱山は、現在進行中の拡張工事を経て、2012年にはフル生産となり、アングロスール社合計で年間約44万トンの生産量となる見通しです。

今回の株式取得により、当社はアングロスール社の銅資産権益の24.5%を保有することとなり、現在の銅の年間持分生産量14万トンが、2012年には25万トンに引き上げられる見込みです。

当社は、優良資源事業投資の拡大と持続的に成長可能な資源ポートフォリオの拡充を重点分野と位置付けております。今回の株式取得を通じて、事業の継続的成長を図って参ります。

また、当社は、チリ国に於いて、エスコンディダ銅鉱山プロジェクト、ロスペランブレス銅鉱山プロジェクトの権益を各々8.25%、5%、鉄鉱石生産販売会社カンパニア・ミネラ・デル・パシフィコ（CMP）の株式を25%保有しており、これらの資源プロジェクトを通じて、チリ国の経済発展と資源の安定供給に貢献します。

なお、本株式の取得に伴う、当社の今期連結業績への影響は軽微です。

＜参考資料＞

1. Anglo American Sur S.A.

1) 会社概要

本社所在地: チリ国 サンチャゴ

事業内容: ① ロスブロンセス銅鉱山の開発・操業及び銅精鉱・銅地金・副産物（モリブデン等）の生産

② エルソルダド銅鉱山の開発・操業及び銅精鉱・銅地金の生産

③ チャグレス銅製錬所に於ける銅アノードの生産

株主構成: アングロ社（100%子会社）

銅生産量: 約 26 万トン（2010 年実績）

2) 主な保有資産

●ロスブロンセス銅鉱山

ロスブロンセス銅鉱山は、首都サンチャゴから北東65キロメートル、標高3500メートルに位置しており、現在は年間約22万トンの銅精鉱・銅地金を生産しています（2010年実績）。更に、現在推進中の拡張工事を経て2012年にはフル生産となり、年間銅生産約40万トン（今後10年間平均）を達成し、近年中には年間生産量で世界第5位の銅鉱山となる見通しです。生産規模だけでなく、埋蔵量、コスト競争力についても世界有数の優良鉱山です。

更に、近隣にロスサルファトス鉱区及びサンエンリケモノリト鉱区の有望未開発鉱区が存在しており、長期的な成長が見込まれております。

●エルソルダド銅鉱山

エルソルダド銅鉱山は、首都サンチャゴから北132キロメートル、標高600メートルに位置し、年間約4万トンの銅精鉱・銅地金を生産しています（2010年実績）。

●チャグレス銅製錬所

チャグレス銅製錬所は、首都サンチャゴから北100キロメートル、標高400メートルに位置し、ロスブロンセス銅鉱山・エルソルダド銅鉱山の銅精鉱を主原料として、年間約14万トンの銅アノード(*)を生産しています（2010年実績）。

（*） 銅アノード: 銅精鉱から銅地金を製造する工程の中間製品

2. Anglo American plc

1917年に南アフリカで設立されて以降、世界各国で鉄鉱石や石炭、銅、ニッケル、プラチナ、ダイヤモンド等の鉱山事業を展開する資源メジャーの1社です。同社は2002年に現在のアングロスール社株式を取得しました。

アングロ・アメリカン・スール社　銅資産所在地

